暮らし　快適に暮らせるまちづくりとの連動を進めます
～特性を活かした安らぎと活力ある地域づくり～

現状と課題

- 台風などの自然災害による電柱の倒壊を防ぐことが必要です。
  ⇒道路の無電柱化を進め、防災性を高めます。

【H15.9　宮古島（台風14号被害）】

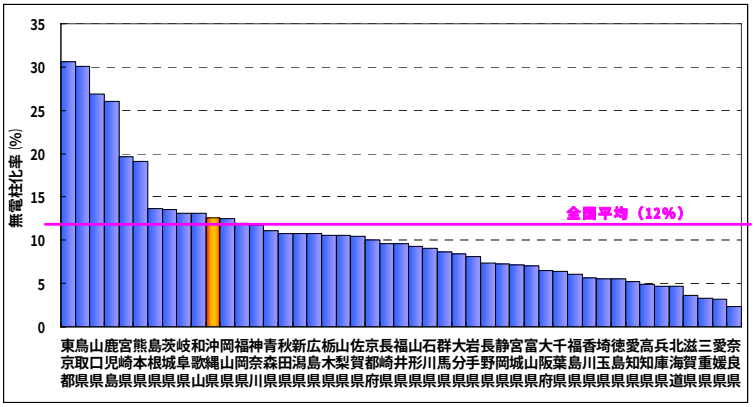
- 景観を向上し、個性豊かな地域の創出を支援します。
  ⇒道路の無電柱化整備を推進し、景観の向上を図ります。

【電線類地中化（国際通り線）】

- バリアフリー化を進め、誰もが安心・安全で通行できる空間を創出します。
  ⇒モノレール駅周辺の歩行空間のバリアフリー化を推進します。

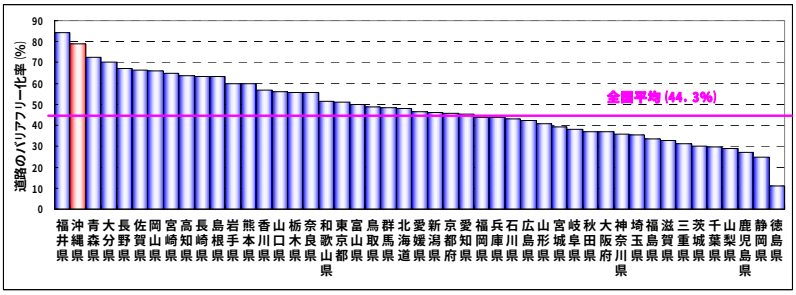
【バリアフリー化（首里駅周辺）】

- 沖縄県の市街地の幹線道路における「無電柱化率」は、全国平均レベルです。
  ⇒継続して無電柱化整備を実施していきます。



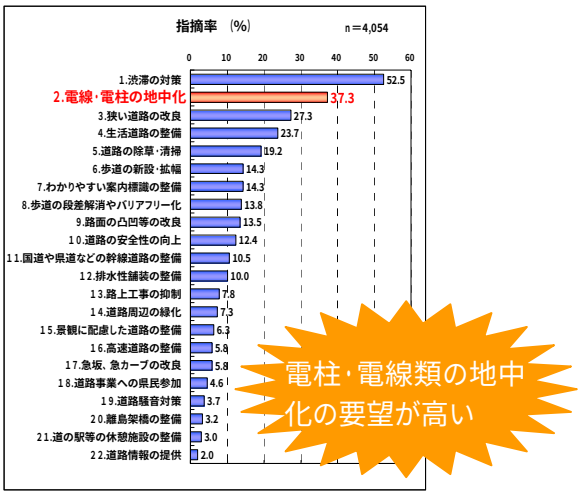
【無電柱化率の全国比較（H18）】

- 沖縄県の市街地の幹線道路における「バリアフリー化率」は、全国で２位です。
  ⇒継続してバリアフリー化整備を実施していきます。



【バリアフリー化率の全国比較（H18）】

- 地域住民の無電柱化（電柱・電線類の地中化）整備に対する高いニーズがあります。
  ⇒優先的に実施すべき施策として、「渋滞の対策」に次いで必要な施策と回答しています。



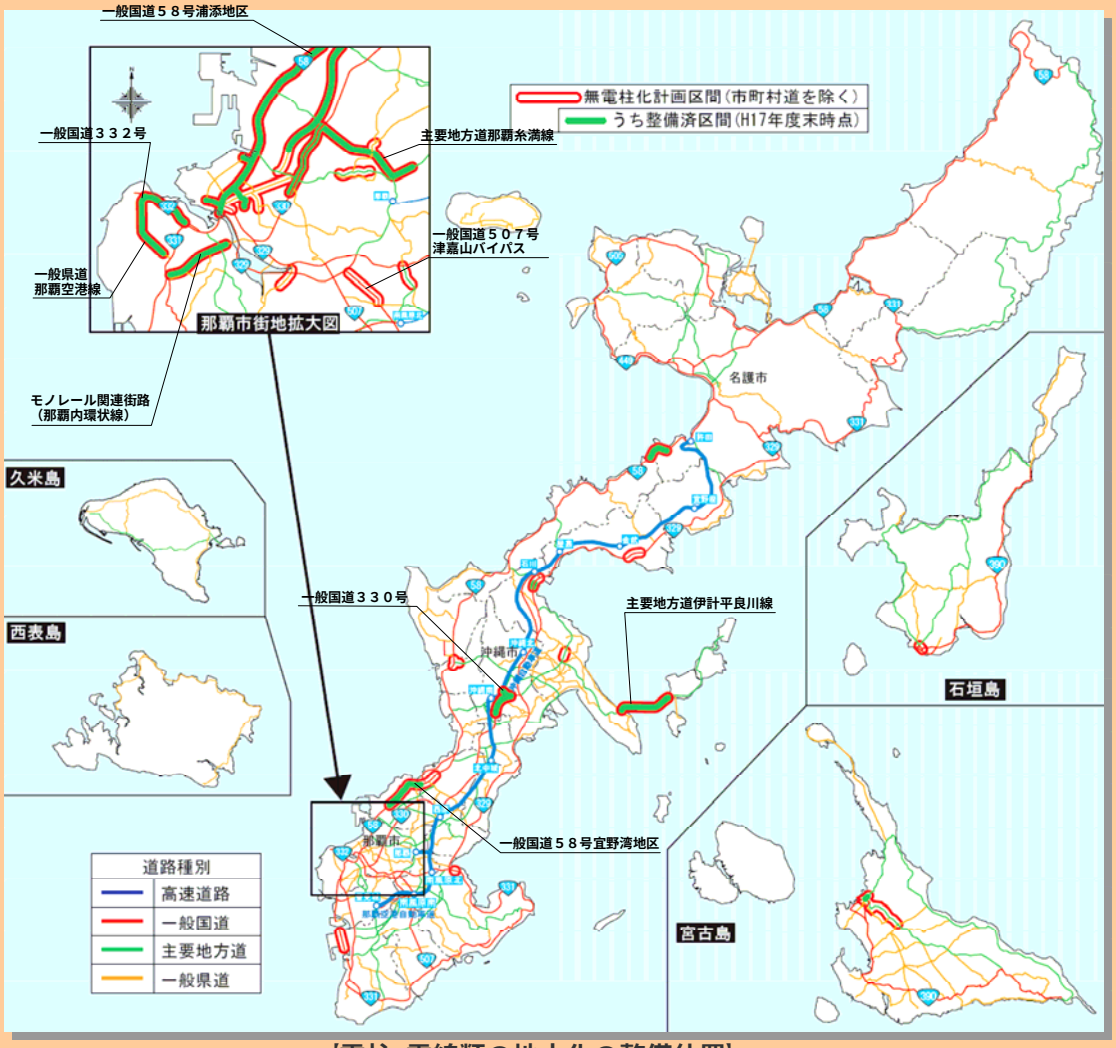
【平成17年度道路整備に対するアンケート調査】

課題への取り組み方針

計画　電柱・電線類の地中化を進める計画の推進

無電柱化推進計画に基づく電柱・電線類の地中化の早期整備

⇒平成２０年度までに計画されている無電柱化の整備を進める無電柱化推進計画（県道以上では計８３.２１５ｋｍ、市町村道を含めると計１０２．１５ｋｍ）に基づき、電柱・電線類の地中化の整備を行います。



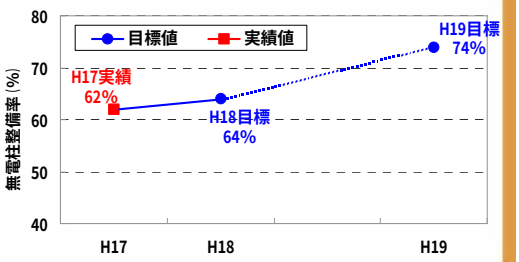
【電柱･電線類の地中化の整備位置】

■アウトカム指標を用いた平成１８年度目標

目標

幹線道路等の１．８８km※の区間で
電柱･電線類の地中化を完了

※国道 329 号うるま市石川地区の計画延長が伸びたため目標値を修正

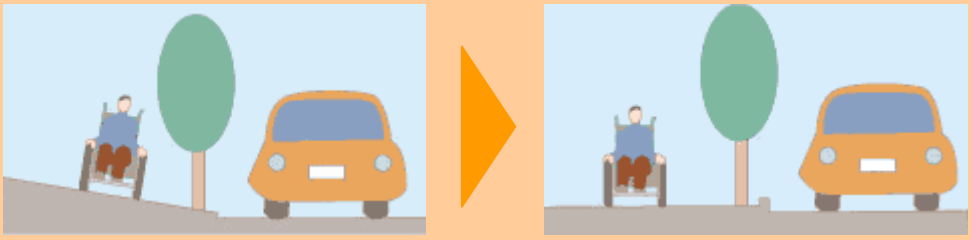


課題への取り組み

計画　歩行空間のバリアフリー化を進める計画の推進

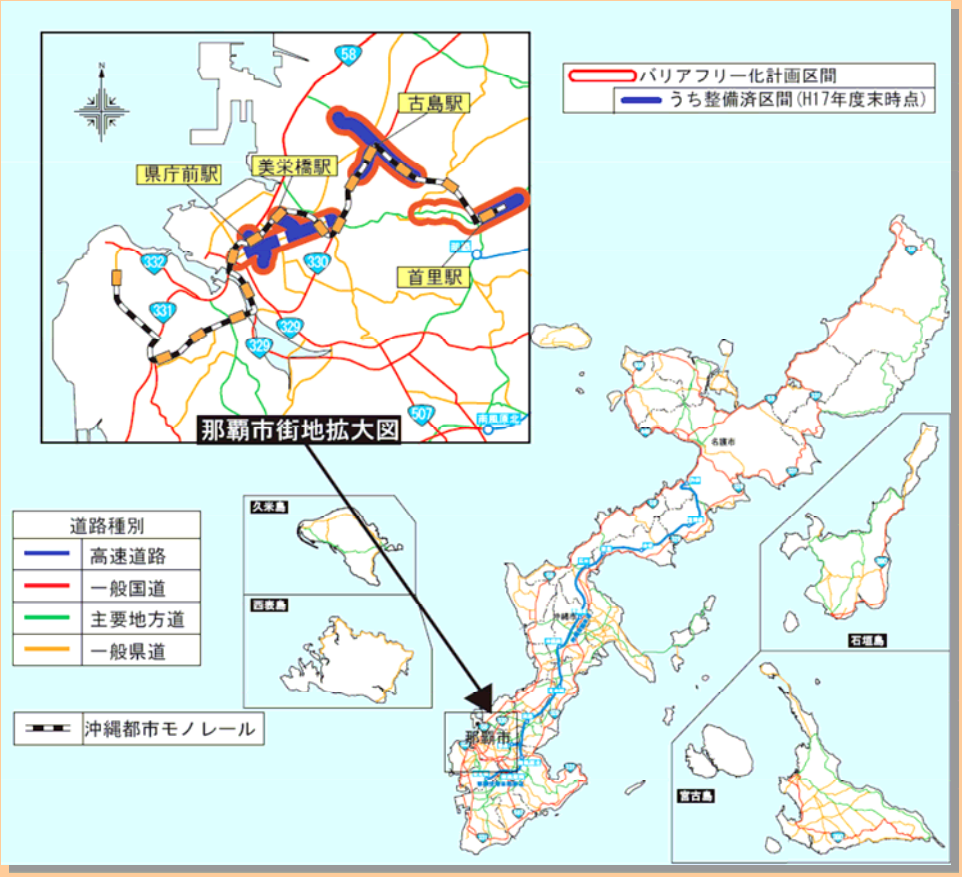
モノレール駅周辺の歩行空間のバリアフリー化の推進

⇒歩行空間のバリアフリー化は、主に歩道の段差・傾斜・勾配の改善、幅の広い歩道の整備、視覚障害者用誘導用ブロックの設置など、誰でも安心して通行できる道路歩行空間を整備することです。



【バリアフリー化のイメージ図】　出典：国土交通省HP

⇒モノレール県庁前駅、美栄橋駅、古島駅、首里駅の周辺にて、歩道の段差や傾斜を改善するなど、車いすの方でも安全かつスムーズに通行できるような道路歩行空間を創出します。

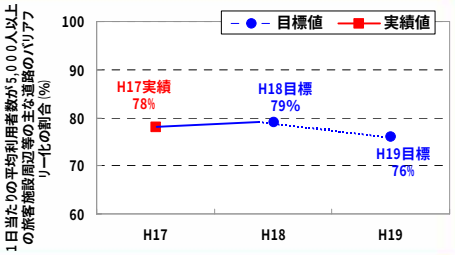


【モノレール周辺のバリアフリー箇所】

■アウトカム指標を用いた平成１８年度目標

目標

モノレール駅周辺の０．１４kmの区間で道路のバリアフリー化を完了



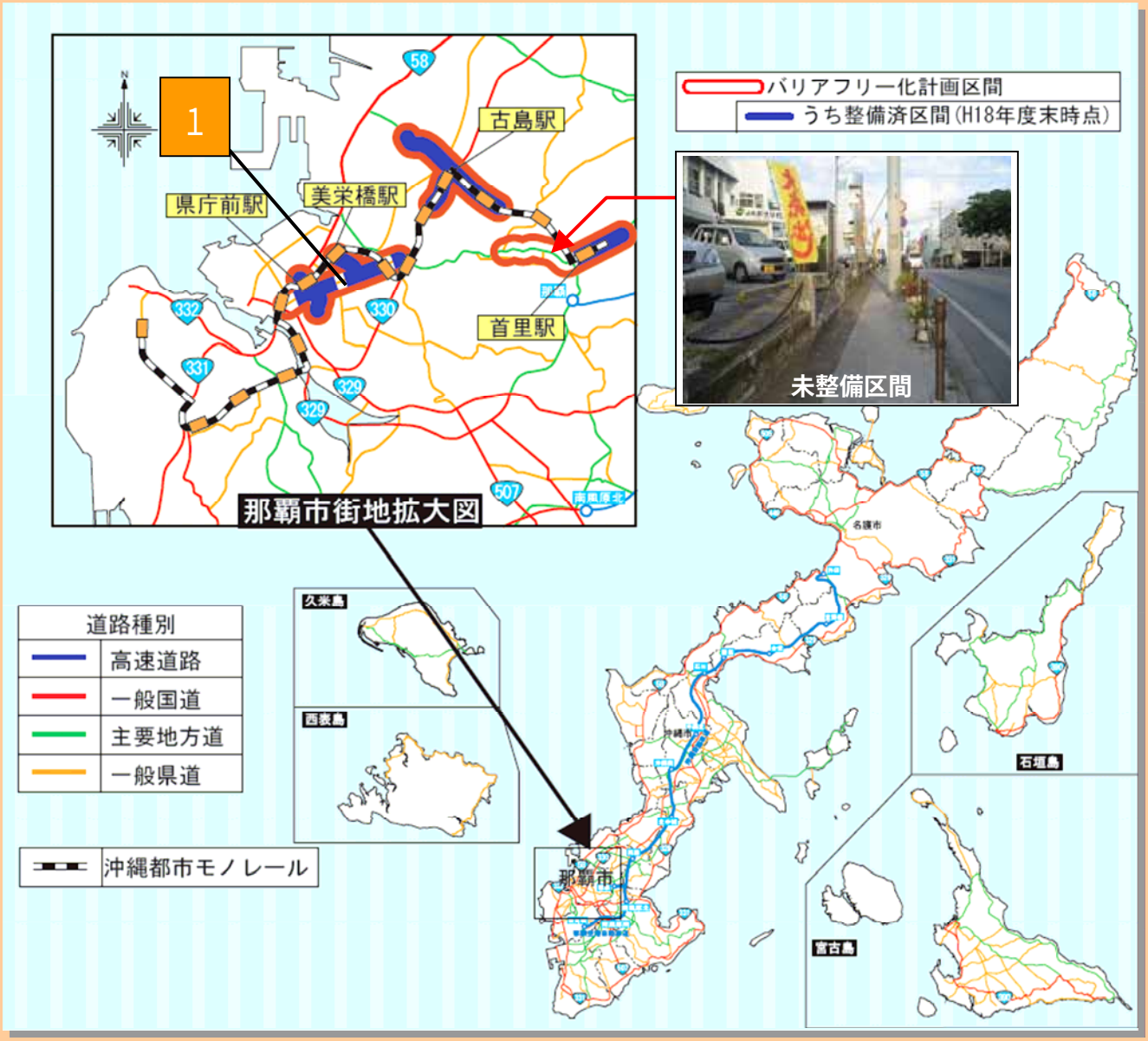
平成１８年度の取り組み事例

取り組み

モノレール駅周辺でバリアフリー化を推進

【平成１８年度に実施した主な事業・施策】

No.	事業・施策の名称	対策前	対策内容	完了年月	整備事例
1	国際通り線	歩道の段差や傾斜のため、車椅子などの通行に支障。また、高齢者など交通弱者にとっても負担が大	0.14kmのバリアフリー化を実施	事業完了	事例 A



【平成18年度事業箇所位置】

平成１８年度の取り組み事例

事例Ａ　モノレール美栄橋駅周辺でのバリアフリー化の整備

モノレール周辺の道路歩行空間にて、誰もが安全・安心に利用できるようバリアフリー化を実施

⇒平成１９年３月に国際通り線にて０.１４km のバリアフリー化を完了しました。

整備前

整備後

〔バリアフリー化の整備前後〕

平成１８年度の目標達成度

【電柱・電線類の地中化を進める事業の推進】

評価

～幹線道路等における電線類の地中化～

目標
１.８８ｋｍ完了

実績
０ｋｍ完了

⇒関連する他事業や工事の遅延等による繰り越し等で目標は達成できませんでした。

【歩行空間のバリアフリー化を進める事業の推進】

評価

～モノレール駅周辺の歩行空間のバリアフリー化～

目標
０.１４ｋｍ完了

実績
０.１４ｋｍ完了

⇒モノレール美栄橋駅周辺など、計０．１４km でバリアフリー化が完了し、目標を達成しました。

平成１９年度の取り組み

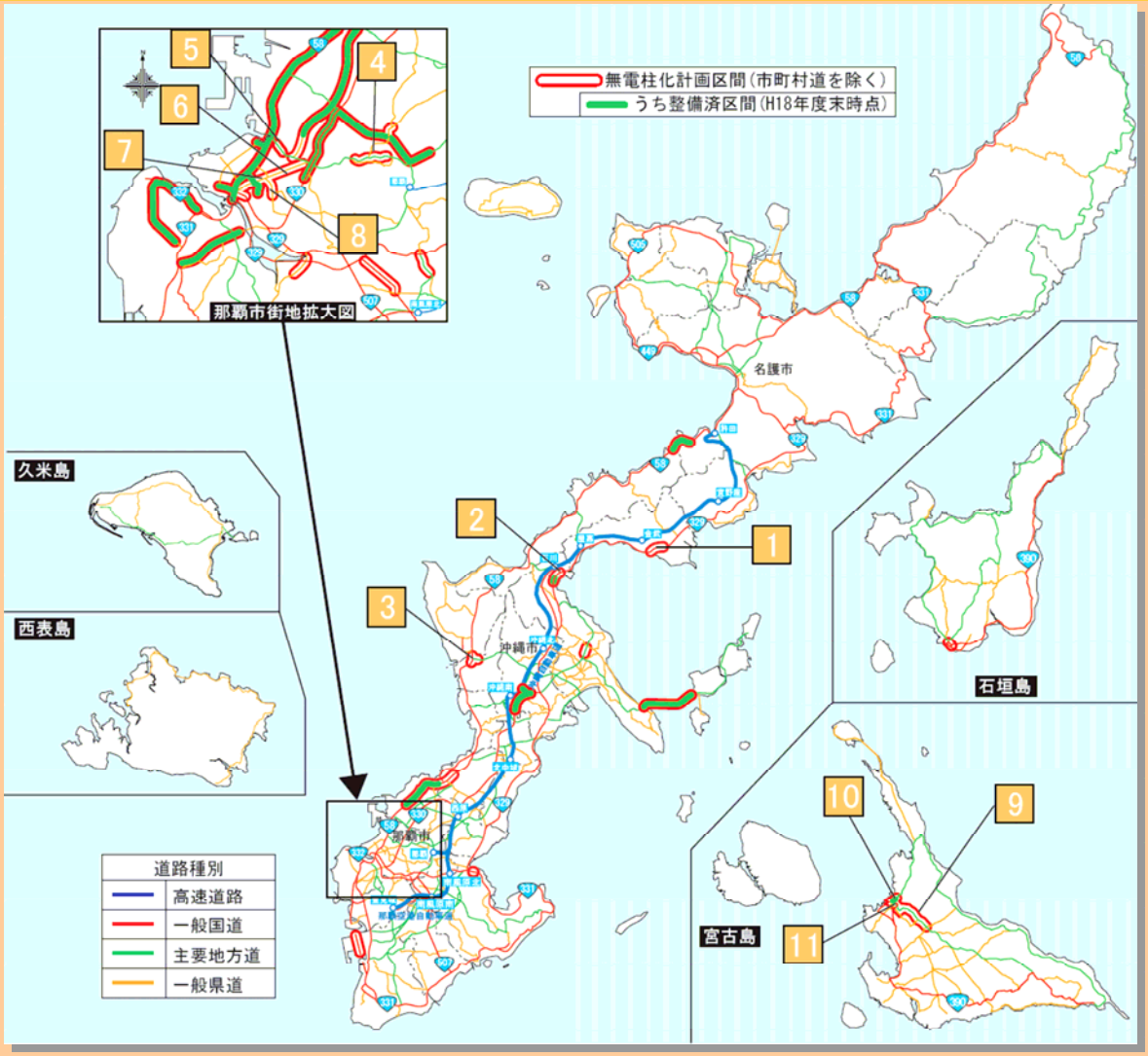
■平成１９年度目標

目標

幹線道路等の４．０８km の区間で電線類の地中化を完了

【平成１９年度に実施予定の主な事業・施策】

No.	事業･施策の名称	完了予定年度	対策内容	期待される効果
1	国道329号金武町金武地区	H19年度	2.20kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
2	国道329号うるま市石川地区	H19年度	1.88kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
3	国道58号嘉手納町	H21年度	1.02kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
4	龍潭線	―	1.38kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
5	那覇北中城線	H20年度	0.23kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
6	国際通り線	―	3.20kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
7	県庁前線外１線	―	3.14kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
8	一銀線	―	0.95kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
9	平良城辺線	H21年度	5.50kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
10	市場通り線	―	0.60kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
11	下里通り線外２線	―	0.74kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化



【平成19年度事業箇所位置】

5ヶ年の達成見込みについて（無電柱化整備率）

■平成 19 年度目標：74%　←　平成 19 年度見込み：67%

一部事業進捗の遅れが生じたため、平成 19 年度目標の達成は厳しい状況である。